



2021 年度

福山市 本郷 町 地内

川田用水路 災害復旧工事実施設計書

工 事 概 要	項 目	当 初		変 更	
	適用単価区分 工 事 概 要	令和4年2月単価 排水路工事			
	復旧延長 水路幅	L=21.4m W=0.2m			
	土工 管渠工	一式	仮設工		
	ヒム管布設工	L=21.4m	仮設道路工 仮締切工	一式 一式	
	根固め工 かご工	A=160m2			
	法面工 植生工	A=159m2			
	端止工 保護工	N=4箇所 A=15m2			

特記仕様書

- 本特記仕様書に記載のない事項については、「福山市工事請負契約約款（契約書を含む）」、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」、「広島県制定土木構造物標準設計図集」、「令和3年度 広島県土木工事共通仕様書（広島県）」、その他関係規則によるものとする。
- 工事実施にあたっては、関係機関との協議を十分に行い、また、地域の地元関係者等周辺を利用する市民への周知徹底を図り、かつ円滑に交通を確保し、混乱のないように実施すること。工事期間はバリケード等により周辺民家の出入り及び、歩行者通路の確保を行うこと。工事車両等の作業にあたっては、誘導等を行い事故防止につとめること。また、やむをえず通行止めをする場合は事前に通知等をおこない、理解と協力を得なければならない。
- 本工事において疑義が生じた場合は、その都度速やかに、その指定した職員（以下「監督員」という。）と協議すること。チェック表「該当」欄に○印がある事項については、工事施工にあたって制約等を受けることとなるので明示する。なお、明示内容に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が生じた時は、監督員と協議し適切な措置を講じるものとする。

チェック表

項目	事項	該当	内容
工程	関連する別途工事あり		工事 : _____ 工期 : _____
	施工時期・時間に制限あり		時期 : _____ 時間 : _____
	関連機関への手続きあり	○	施工にあたり、日本国の関係諸法令・諸官公庁の通達、工事施工に関する協定事項等を遵守し、諸官公署への届出及び許可等の手続きを速やかに行い、監督員に報告すること。
	工期	○	本工事の工期は、工事検査期間として14日間を見込んでいる。
	工程表	○	契約締結後14日以内に工程表を提出するものとする。
	工事着手	○	受注者は、工事開始日以降30日以内に工事着手しなければならない。
	工事着手（特別な事情あり）	○	本工事は管理者との協議により、2022年（令和4年）6月15日から2022年（令和4年）10月20日の間、本体工事及び仮設工事の施工をしてはならない。受注者は、この期間終了日の翌日から30日以内に工事着手しなければならない。
現場体制	名札の着用	○	受注者は、工事現場内において、監理技術者、主任技術者（下請人を含む）に工事名、工期、写真、所属会社名及び証明印の入った名札（図1）を着用するものとする。
	工事標示板	○	図2を標準様式とする。ただし、これにより難しい場合は監督員と協議するものとする。
	現場代理人の兼任		本工事の現場代理人については、福山市建設工事執行規則第19条第3項又は福山市建設工事請負契約約款第10条第3項の規定にかかわらず、他の工事との兼任を認めないものとする。
安全対策	交通誘導員について	○	本工事における交通誘導員の積上げ人数は、交通誘導の対象となる施工量に対し、作業日当り標準作業量から必要な人数を見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導員の積上げ人数の増員に対する変更は行わない。また、工事実績の交通誘導員が減となった場合は、実績数量により変更を行う。ただし、交通誘導員の対象となる施工量に増減等が生じた場合にはこの限りではない。
	特別な交通安全対策が必要		施設等

項目	事項	該当	内容
建設副産物	建設発生土の処分あり	○	当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。 また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。 なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議するものとする。
	建設廃棄物の処分あり		○
建設機械	排出ガス対策型建設機械の指定あり	○	土木工事共通仕様書（令和3年度広島県）「1-1-1-30 環境対策」で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、第2次基準値以上の建設機械の使用に努めること。 なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。
埋戻材について	流用土	○	当該工事に使用する埋戻材は流用土を使用するものとする。使用にあたっては、次のとおりとする。 品質基準 「道路土工指針」盛土材の基準に適合するもの。
	建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土	○	(1)当該工事に使用する購入土は、建設発生土処分先一覧表に掲載された建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土（改良土を含む。）を使用するものとする。積算にあたっては、運搬費と処理土購入費（工場渡し）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き購入土に要する費用（単価）は変更しない。 (2)(1)により使用することとしている処理土について、何らかの事情によりその使用が困難である場合は、設計図書の内容について監督員と協議すること。 (3)使用する処理土がセメント及びセメント系固化材を使用した改良土の場合、「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」に基づき、建設発生土リサイクルプラントから試験結果の提示を受けるとともに、施工後に六価クロム溶出試験を実施し、試験結果（計量証明書）を提出するものとする。
	購入土（新材料）	○	新材料を使用する場合は、採取場所、砕石（採取）業者、試験業者、試験日を明記した試験結果報告書を提出するものとする。 新材料の購入土砂を見込んでいるが、建設発生土処分先一覧表に掲載された建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土（改良土を含む。）を使用することが可能である場合は、その使用に努めるものとする。 ただし、使用する処理土がセメント及びセメント系固化材を使用した改良土の場合、「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」に基づき、建設発生土リサイクルプラントから試験結果の提示を受けるとともに、施工後に六価クロム溶出試験を実施し、試験結果（計量証明書）を提出するものとする。積算にあたっては、購入土に要する費用が最も経済的になるものを見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き購入土に要する費用（単価）は変更しない。
工事材料について	再生材について	○	(1)当該工事に使用する再生材料については、設計図書に明記する。 (2)再生材の確保が困難な場合は、監督員と協議すること。 当該工事に使用する材料について、表1に該当するものは再生材を使用するものとする。
工事成績評定について	成績評定について		請負金額が3,500万円未満の平成30年7月豪雨に伴う災害復旧工事については、原則、工事成績評定の対象外とする。ただし、請負金額が500万円以上の工事で、契約後速やかに、当該工事の成績評定を希望する旨を記載した工事打合せ簿を提出した場合は、工事成績評定の対象とする。

<p>現場管理費の補正について</p>	<p>熱中症対策に資する現場管理費の補正について</p>	<p>○</p>	<p>本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。</p> <p>1 工期（工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日及び後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間 13 日間、年末年始 6 日間（12 月 29 日～1 月 3 日）、夏季休暇 3 日間（国民の祝日である山の日次の日から土曜日、日曜日及び振替休日を除く 3 日間とする。）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。</p> <p>2 真夏日とは、日最高気温が 30 度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が 25 度以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は、作業時間帯の最高気温又は最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。</p> <p>3 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。 なお、本工事において、上記地上観測所及び観測地点は、「福山」とすることを標準とする。</p> <p>4 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督員に提出すること。</p> <p>5 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督員と協議するものとする。</p> <p>6 積算方法は次のとおりとする。</p> <p>（1）補正方法</p> <p>ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。ただし、現場管理費率の補正は、「積算寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本通知の補正値を合計し、2%を上限とする。</p> <p>イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期</p> <p>ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2</p> <p>（2）補正値の計算結果は、パーセント表示で少数点 3 位を四捨五入して 2 位止めとする。</p> <p>7 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることが出来る。</p> <p>8 検査員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。</p>
<p>事前測量について</p>	<p>・縦断図 ・横断図</p>	<p>○</p>	<p>受注者は工事実施にあたり、現地測量を行い、管理測点での計画幅員及び計画高を検討し、監督員と協議するものとする。</p>
<p>感染防止対策</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策</p>	<p>○</p>	<p>1 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、次のとおり実施に努めること。</p> <p>(1) 「3つの密を避けるための手引き」の活用 各現場に配布し工事等の関係者に周知を図るとともに、作業所等で掲示を行う。 ・https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html#kokumin</p> <p>(2) 「建設現場の「三つの密」の回避等に向けた取組事例」の活用 各現場に配布し始業前の朝礼や KY 活動等において工事等の関係者に周知を図る。 ※各現場での対策事例については、Twitter や Facebook 等の SNS 活用により普及・展開に努めてください。</p> <p>例)「#建設現場の3密対策」を付けたツイートが行われるよう同ハッシュタグを周知する等</p> <p>2 上述の 1 を参考に、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を実施することにより追加費用が発生する場合は、実施計画書（様式 1）により監督員と事前に協議を行い、必要と認められる対策については変更施工計画書（変更業務計画書）を提出する。 なお、必要と認められる対策については、設計変更の対象とする。</p> <p>3 最終精算変更時点においては、実際に履行したことがわかる全ての証明書類（領収書の写し、領収書の出ないものは金額の妥当性を証明する書類等）及び実績報告書（様式 2）を監督員に提出する。</p> <p>4 受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び指名除外等の措置を行う場合がある。</p> <p>5 疑義が生じた場合は、監督員と協議すること。</p>
<p>工事の積算について</p>	<p>1 日未満で完了する作業の積算について</p>	<p>○</p>	<p>1 受注者は、施工実施にあたり施工パッケージ型積算基準と乖離がある場合は、1 日未満で完了する作業の積算（以下、「1 日未満積算基準」という。）の適用を発注者に請求できる。</p> <p>2 受注者は、協議にあたって、1 日未満積算基準に該当することを示す書面、その他協議に必要な根拠資料（日報、実際の費用がわかる資料等）を提出すること。</p>

<p>施工条件</p>	<p>仮設工について</p>	<p>○</p>	<p>1. 指定仮設 内容：仮設道路工，仮締切工 理由：河川管理者(広島県東部建設事務所管理課)と事前協議の結果，仮設道の位置，仮締切の位置が決定されているため上記工種は指定仮設とし，設計図書に定める方法により難しい場合は，監督員と受注者が協議するものとする。</p>
<p>情報共有システムの利用</p>	<p>3500万円以上の工事</p>		<p>1 本工事は，受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより，業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。 広島県工事中情報共有システム http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyouseishisutemu2.html 3 受注者は，情報共有システムの利用対象としないことを希望する場合は，契約後すみやかに発注者にその旨を協議し，承諾を得ること。 4 受注者は，情報共有システムの利用に当たり，(一社)広島県土木協会に利用申込みを行い，利用料を支払うものとする。 5 受注者は，情報共有システムの利用にあたり，情報共有システム利用手引に基づき運用すること。</p>

写真 2cm * 3cm 程度	監理(主任)技術者
	名前 ○○ ○○ ○○○○工事 工期 自○○○○年○○月○○日 至○○○○年○○月○○日
	◇◇建設株式会社 印

監理技術者・主任技術者どちらか
用紙の大きさは、名刺サイズ以上

所属会社の社印とする

図1 【名札の例】

ご迷惑をおかけします

**○○○○○○を
なおしています**

○○年○月○日まで

時間帯 ○○:○○~○○:○○

○○○○工事

発注者 福山市長 枝広 直幹(○○課)

電話 ○○○-○○○○

施工者 ○○建設株式会社

電話 ○○○-○○○○

- 何の工事を何の目的で実施しているかをわかりやすく示す「工事内容」を表示する
- 「工事期間」は、一目でわかるように、終了日のみを表示し、枠組みや大きな文字で強調する
- 工事内容を簡潔に説明した「工事種別」を表示する

図2 【工事標示板の例】

看板の寸法は、縦 140~200cm, 横 114~200cm とする。

表 1 工事使用材料

資材名	名称及び規格	使用箇所	品質基準
土砂	処理土・改良土	盛土材, 埋戻材	共通仕様書 土壌の汚染に係る環境基準 発生土利用マニュアル 道路土工指針 建設汚泥リサイクル指針 広島県道路事業設計要領 } に定める基準によるものとする。
砂	再生砂 (RS)	遮断層, 埋戻材(良質土のない場合), 軟弱地盤の置換材及び凍上抑制層など	広島県土木工事共通仕様書による
砕石	再生クラッシャーラン(RC40, 30)	<ul style="list-style-type: none"> ・埋戻材及び置換材 ・コンクリートブロック積み, 側溝及び擁壁等の構造物の基礎 ・コンクリートブロック積み, 側溝及び擁壁等の構造物の裏込め材 ・仮設道路の敷砂利 ・下層路盤 	//
	再生粒度調整砕石(RM30, 40)	上層路盤	//
アスファルト合材	再生細粒度アスコン 再生密粒度アスコン (骨材最大粒径は 20mm 又は 13mm)	車道・路肩・歩道及び仮設道路などの表層	//
	再生粗粒度アスコン (骨材の最大粒径 20mm)	中間層及び基層	//
	再生アスファルト安定処理	アスファルト安定処理で行う上層路盤工	//

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 70 福山市 00-04.02.01(0) 9 公共(011015～)		
	当世代	前世代	
諸経費工種 工事費端数区分 週休補正区分 施工地域・工事場所区分 契約保証費区分 前払支出割合区分 軽油区分 復興補正区分 ICT補正区分	07 排水路工事 01 千円未満切捨 00 補正なし 00 補正なし 01 金銭的保証(0.04%) 00 補正なし 00 一般軽油使用 00 補正なし 00 補正なし		

本工事費

内訳表

本工事費	費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	排水路工事					レベル1
	土工	1	式			レベル2
	掘削工	1	式			レベル3
	土砂掘削	1	式			レベル4
	掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準以外		m3			00
	盛土工	91	m3			単第 0 -0001号表 レベル3
	購入土盛土	1	式			レベル4
	真砂土購入 ほぐし土量		m3			
		89	m3			

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
盛土									00	
整形仕上げ工	66		m3						単第 0 -0002号表	レベル3
法面整形（盛土部）	1		式							レベル4
法面整形 盛土部 法面締固め無し 現場制約無し レキ質土,砂及び砂質土,粘性土	172		m2						00	
作業残土処理工	1		式						単第 0 -0007号表	レベル3
作業残土処理										レベル4
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離3.0km以下(2.5km超)	143		m3						00	
処分費対象額調整（直接工事費計上分）										単第 0 -0008号表
残土受入費 礫質土	143		m3							

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
管渠工						レベル2
ヒューム管布設工	1		式			レベル3
ヒューム管	1		式			レベル4
			m			
遠心力鉄筋コンクリート管(B形) 据付 管径200mm 外圧管1種	21.4		m			00
管継ぎ手部補強コンクリート						単第 0 -0009号表 レベル4
			箇所			
管継ぎ手部補強コンクリート	2		箇所			00
						単第 0 -0010号表
根固め工	1		式			レベル2
作業土工	1		式			レベル3
床堀	1		式			レベル4
			m3			

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	64		m3						00	
埋戻			m3						単第 0 -0013号表 レベル4	
積込(ルーズ) 土砂 小規模(標準以外)	12		m3						00	
かご工									単第 0 -0003号表 レベル3	
省力化平張りかご工	1			式					レベル4	
省力化平張りかご H=500mm	160		m2						00	
法面工									単第 0 -0014号表 レベル2	
植生工	1			式					レベル3	
野芝付きジオテキスタイル張付工	1			式					レベル4	
				式						

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考	
野芝付ジオテキスタイル張付工 法面部	118		m2						00		
野芝付ジオテキスタイル張付工 堤脚部	35		m						00	単第 0 -0016号表	
野芝付ジオテキスタイル張付工 天端部	35		m						00	単第 0 -0017号表	
野芝付ジオテキスタイル張付工 端止部	18		m						00	単第 0 -0018号表	
芝付工										00	単第 0 -0019号表
芝付工 全面張 人工芝(幅 50cm程度)	41		m2						00	レベル4	
端止工	1		式							00	単第 0 -0020号表
コンクリート										00	レベル3
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB バックハウ(クレーン機能付)打設	3.9		m3						00	レベル4	
										00	単第 0 -0021号表

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
型枠									レベル4	
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物				m2					00	
	32			m2					単第 0 -0022号表	
目地板									レベル4	
				m2						
目地板 瀝青繊維質目地板 t=10mm									00	
	0.8			m2					単第 0 -0023号表	
保護工(張コンクリート)									レベル3	
	1			式						
コンクリート									レベル4	
				m3						
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB バックハウ(クレーン機能付)打設									00	
	3.2			m3					単第 0 -0021号表	
型枠									レベル4	
				m2						
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物									00	
	16			m2					単第 0 -0022号表	

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
溶接金網				m2					レベル4	
溶接金網<JISG3551> 線径5.0, 網目150×150mm 単位質量2.16kg/m2	13			m2					00	
目地板				m2					レベル4	
目地板 瀝青繊維質目地板 t=10mm	2			m2					00	
仮設工									単第 0 -0023号表 レベル2	
仮設道路工	1			式						
仮設道路	1			式					レベル3	
真砂土購入 ほぐし土量				m					レベル4	
路体(築堤)盛土・埋戻 施工幅員2.5m以上4.0m未満	134			m3					00	
	101			m3					単第 0 -0024号表	

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
砂利舗装工 敷均し幅2.5m以上 バックホウ敷均し 敷均し	160		m	2					00	単第 0 -0025号表
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準以外	128		m	3					00	単第 0 -0001号表
敷鉄板設置撤去				m	2					レベル4
敷鉄板設置撤去工 設置	158		m	2					00	単第 0 -0027号表
敷鉄板設置撤去工 撤去	158		m	2					00	単第 0 -0029号表
敷鉄板賃料 22 × 1524 × 3048, 802kg/枚 賃貸期間19日	34			枚					00	単第 0 -0030号表
仮締切工	1			式						レベル3
大型土のう				袋						レベル4
真砂土購入 ほぐし土量	7		m	3						

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
大型土のう製作・設置(RTC設置)									00	
	7			袋					単第 0 -0031号表	
大型土のう撤去 作業半径 6mを超え20m以下									00	
	7			袋					単第 0 -0033号表	
土砂掘削									レベル4	
				m3						
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準以外									00	
	69			m3					単第 0 -0001号表	
埋戻									レベル4	
				m3						
積込(ルーズ) 土砂 小規模(標準以外)									00	
	69			m3					単第 0 -0003号表	
水替ポンプ									レベル4	
				式						
水替工(小口径)ポンプ据付・撤去工									00	
	1			箇所					単第 0 -0034号表	
ポンプ運転									00	
	9			日					単第 0 -0035号表	

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
作業残土処理工									レベル3	
	1			式						
作業残土処理									レベル4	
				m3						
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離3.0km以下(2.5km超)	134			m3					00	単第 0 -0008号表
処分費対象額調整(直接工事費計上分)										
残土受入費 砂質土	134			m3						
運搬処理工									レベル3	
	1			式						
廃プラスチック処理									レベル4	
				t						
処分費対象額調整(直接工事費計上分)										
大型土のう袋処分	15			kg						

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
交通安全工									レベル3	
	1			式						
交通誘導警備員									レベル4	
				人						
交通誘導警備員B									00	
	6			人						
直接工事費										
運搬費										
運搬費									レベル2	
	1			式						
運搬費									レベル3	
	1			式						
仮設材輸送									レベル4	
				式						
仮設材(敷鉄板等)運搬 運搬距離 3.9km 製品長 12m以内									00	
	1			式						単第 0 -0037号表

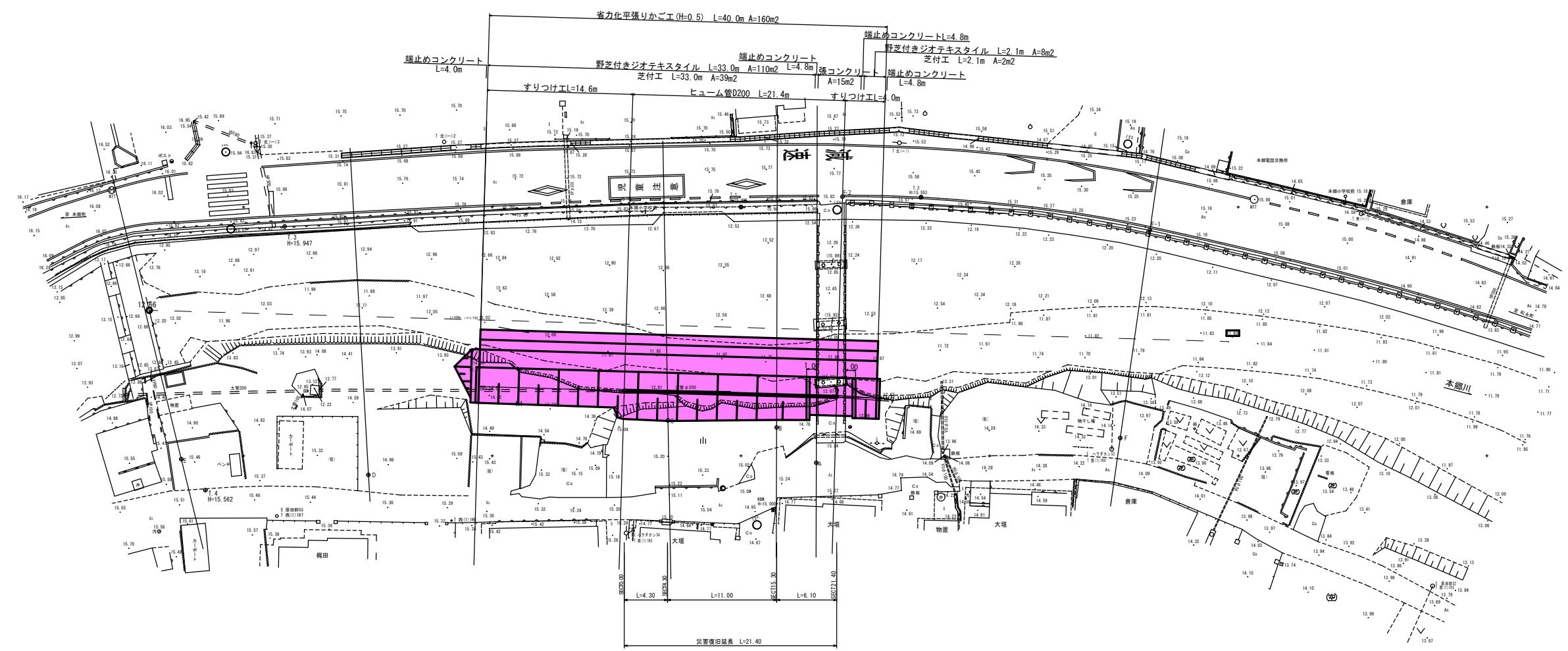
本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
共通仮設費率 分類						
共通仮設費計						
純工事費						
現場管理費						
工事原価						
一般管理費率 分						
契約保証費						
一般管理費計						
工事価格計						

図面番号	/	縮尺	S=1:10,000
工種	用水路災害復旧工事		
種別	位置図	番号	
用水路名	川田用水路		
工事箇所	福山市本郷町地内		
福山市			





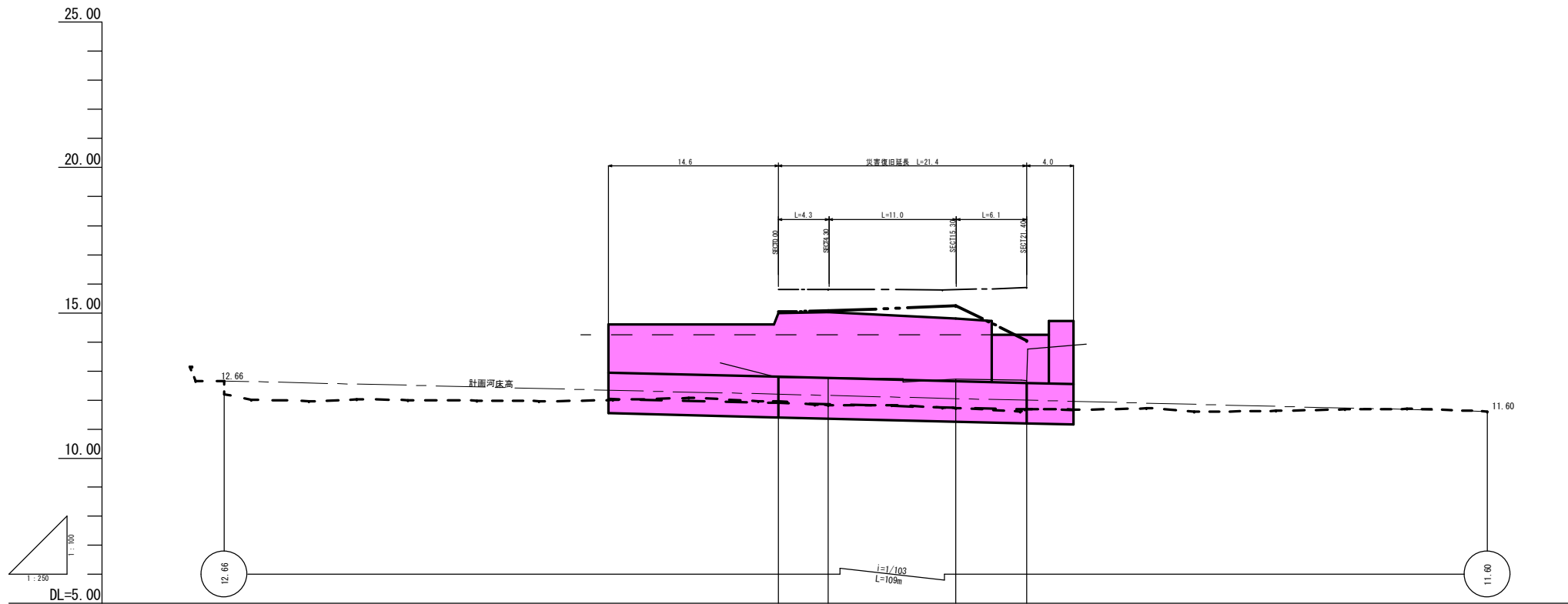
50%縮小版 (A1⇒A3)

504
207

令和3年9月2日～9月4日 豪雨災害

工事名	川田用水路災害復旧工事		
図面名	計画平面図		
年月日	2022年(令和4年)2月		
縮尺	図示	図面番号	1/6
工事箇所	福山市本郷町地内		
事業主体	福山市		

地盤高	——
最深河床高	- - - -
右岸堤防高	— · — ·
左岸堤防高	- - - -



河床勾配						
復旧河床高	12.05	11.91	11.87	11.76	11.70	11.66
河床高		11.91	11.83	11.73	11.70	
管勾配						
計画管底高		12.77	12.75	12.70	12.67	
管底高		12.77	12.77	12.72	12.67	
追加距離		0.000	4.300	15.300	21.400	
単距離		0.000	4.300	11.000	6.100	
測点名		SECTION 0	SECTION 3	SECTION 3	SECTION 4	

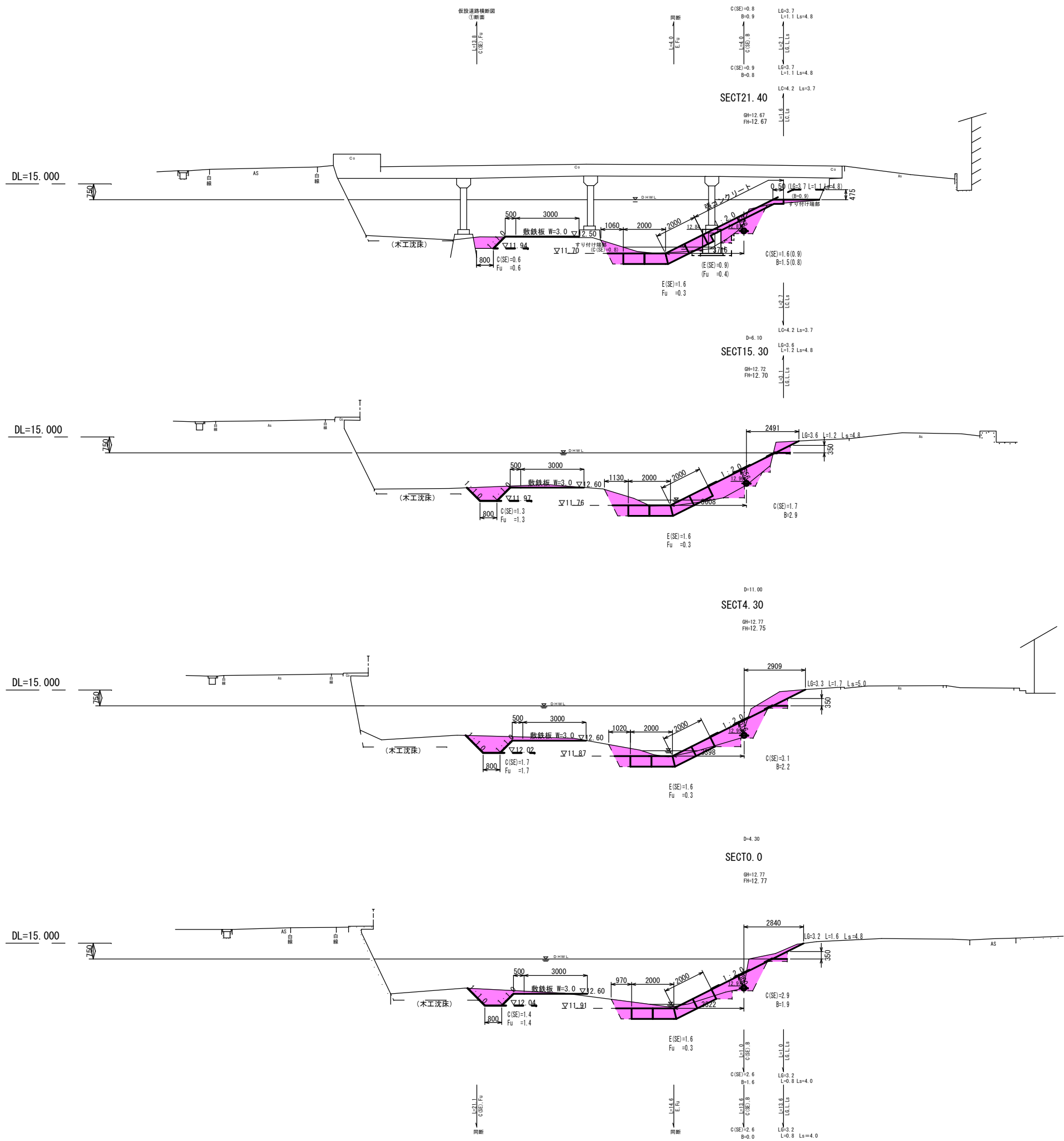
50%縮小版 (A1⇒A3)

504
207

令和3年9月2日～9月4日 豪雨災害

工事名	川田用水路災害復旧工事		
図面名	+ 縦断面図		
年月日	2022年(令和4年)2月		
縮尺	図示	図面番号	2/6
工事箇所	福山市本郷町地内		
事業主体	福山市		

数量記号凡例	
掘削	C (SE)
埋戻土	B
盛土法面整粉	Ls
床掘	E (SE)
埋戻	Fu
法面養生工	野芝付シオチキ張付工
法面養生工	芝付工
橋コンクリート	LC



50%縮小版 (A1⇒A3)

504
207

(注) : 左岸側河床に設置してある「木工沈床」を、
施工時に破損しないよう注意をすること。

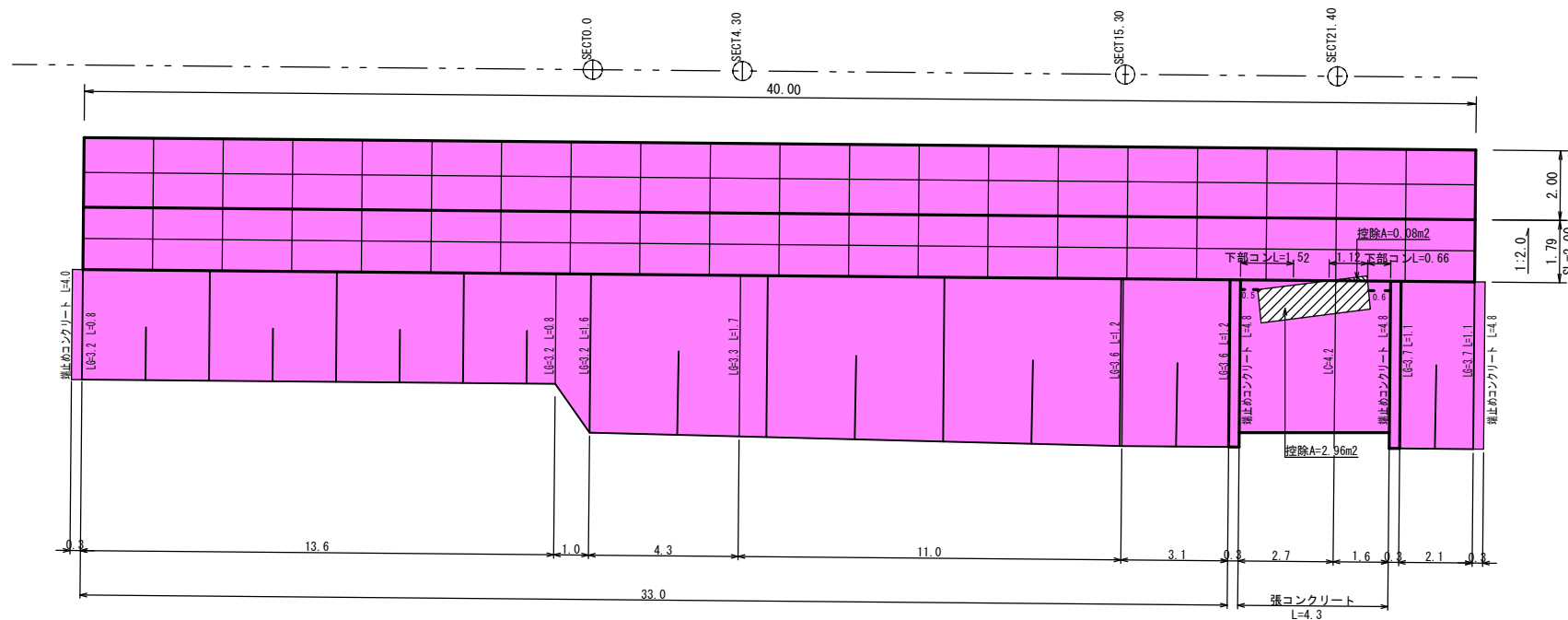
令和3年9月2日～9月4日 豪雨災害

工事名	川田用水路災害復旧工事		
図面名	横断面図		
年月日	2022年(令和4年)2月		
縮尺	1:100	図面番号	3/6
工事箇所	福山市本郷町地内		
事業主体	福山市		

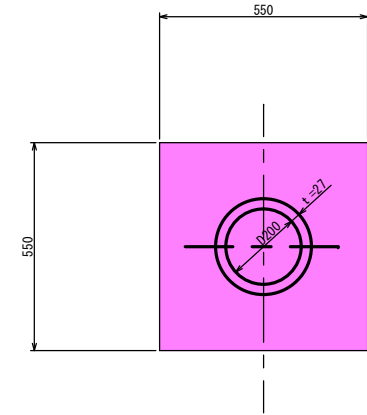
省力化平張りかご工詳細図 S=1 : 100

本体割付図

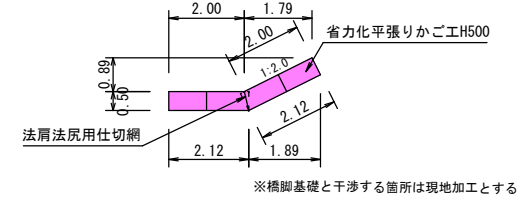
本郷川



管継ぎ手部補強コンクリート
L=0.3m S=1 : 10



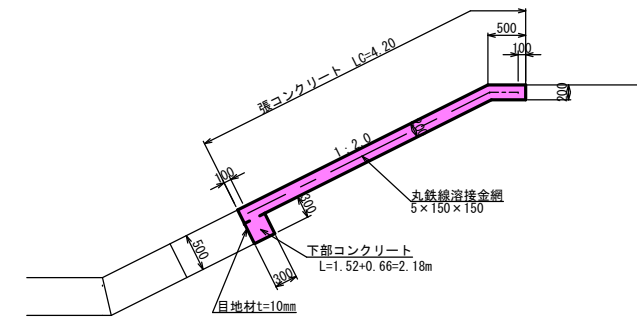
断面図



張コンクリート S=1 : 50

数量表 1箇所当り

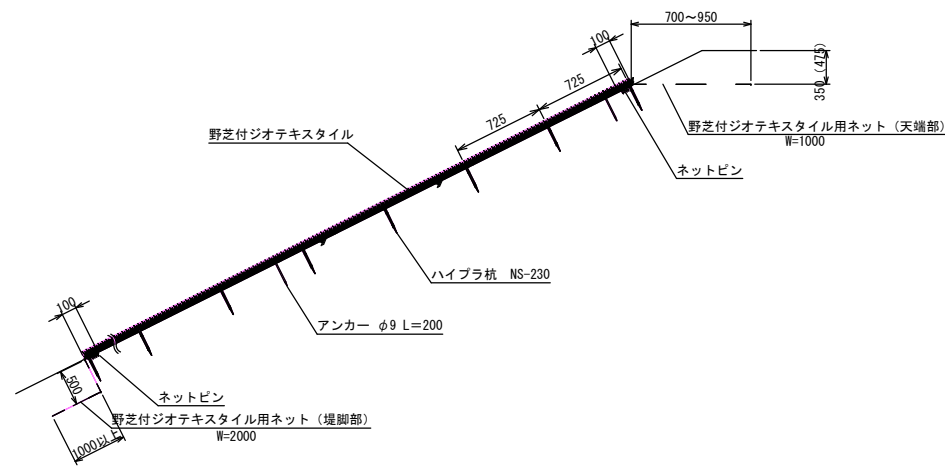
名称	規格	単位	数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m ³	0.08
型枠	小型	m ²	0.33



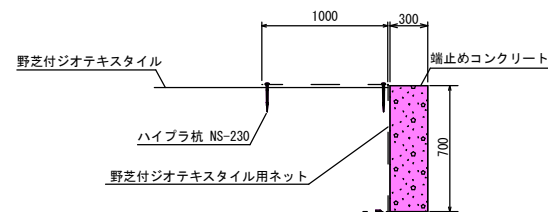
野芝付ジオテキスタイル詳細図

(流速5m/s以下)

標準断面図 S=1 : 30

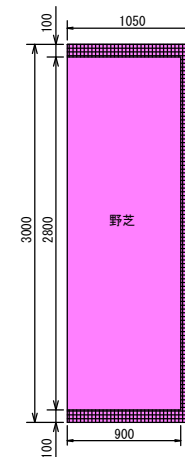


端止ネット敷設図 S=1 : 30

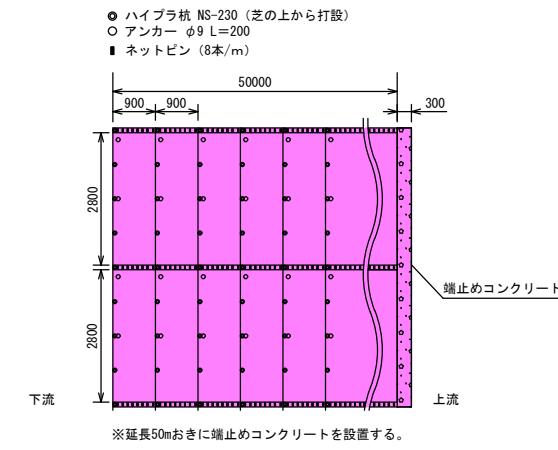


野芝付ジオテキスタイル用ネットは地上部に1000mm、
地中には深さ500mm以上、全長で2000mmを埋設する。

野芝付ジオテキスタイル詳細図 S=1 : 30



アンカー打設標準図 S=1 : 80



50%縮小版 (A1⇒A3)

504
207

野芝付ジオテキスタイル規格

規格	不織布		野芝付ジオテキスタイル用トネット		植生		
幅	長さ	素材	色	素材	被覆材	色	芝種
1,050 (900)	3,000 (2,800)	ポリエステル繊維	白	ポリエステル系	アクリル系 熱硬化樹脂	黒	野芝

()内は芝付寸法

材料表

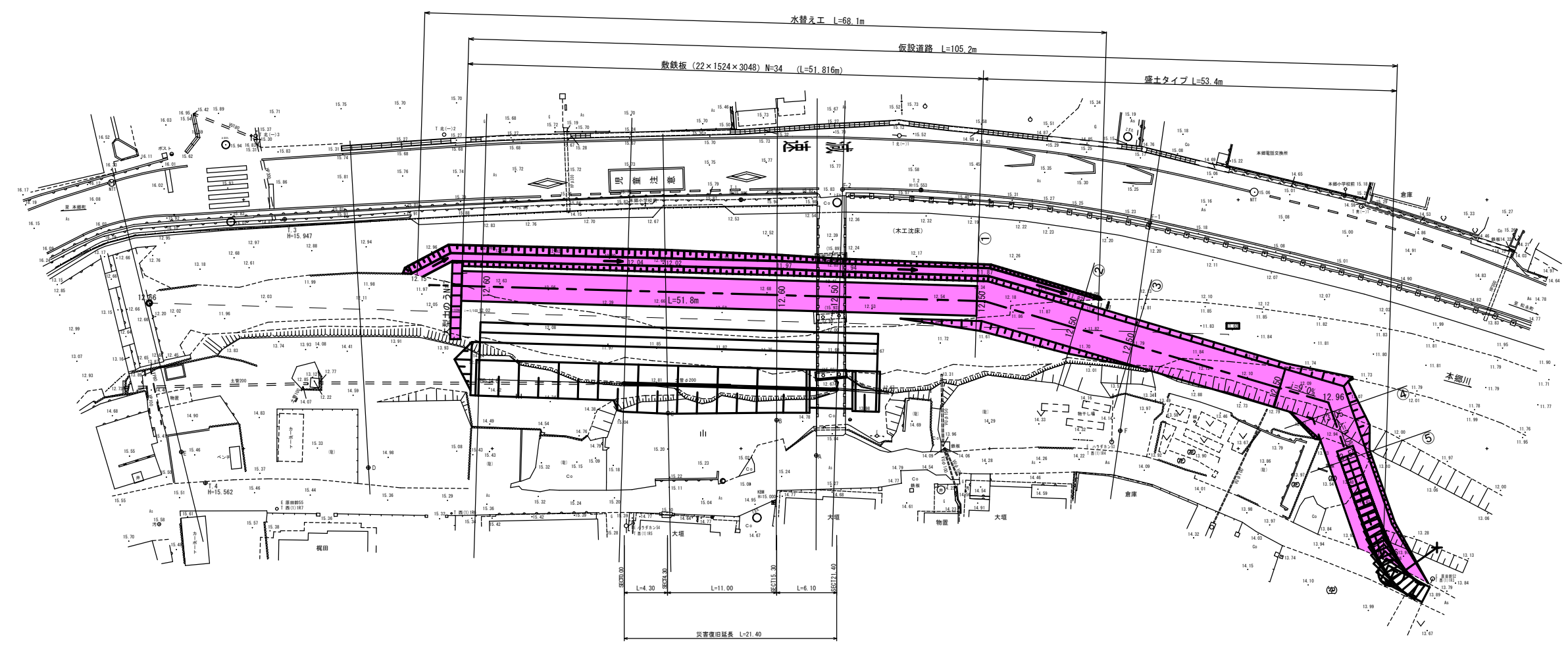
(100m²当り)

品名	形状	単位	数量	備考
野芝付ジオテキスタイル	1,050×3,000	m ²	108	植生部 900×2,800 割増率 8%
ハイブラ杭 NS-230	L=230	本	175	
アンカー	φ9 L=200	本	88	
ネットピン		本	412	8本/m当り
覆土材料		m ³	1.0	有害物を含まない砂質系土壌 を標準とする。

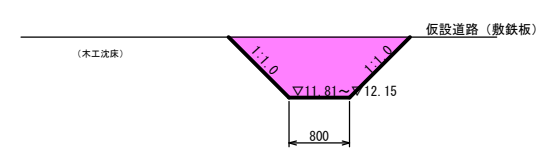
※堤脚部、天端部、端止部を含まず

令和3年9月2日～9月4日 豪雨災害

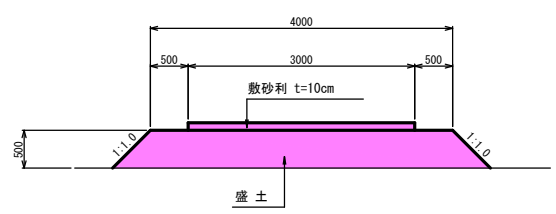
工事名	川田用水路災害復旧工事		
図面名	構造図・展開図		
年月日	2022年(令和4年)2月		
縮尺	図示	図面番号	4/6
工事箇所	福山市本郷町地内		
事業主体	福山市		



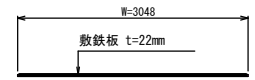
水替え工 S=1:50



仮設道路 (Aタイプ) S=1:50



敷鉄板 (L=51.8m) S=1:50



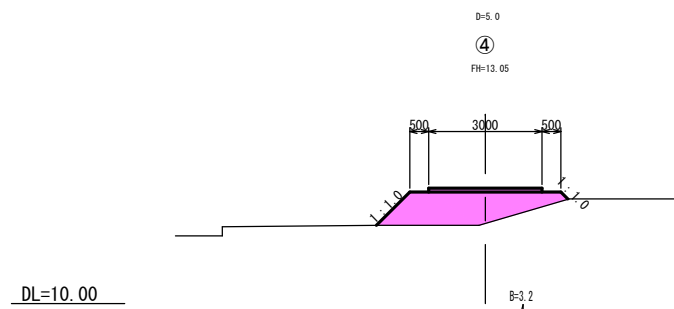
50%縮小版 (A1⇒A3)

504
207

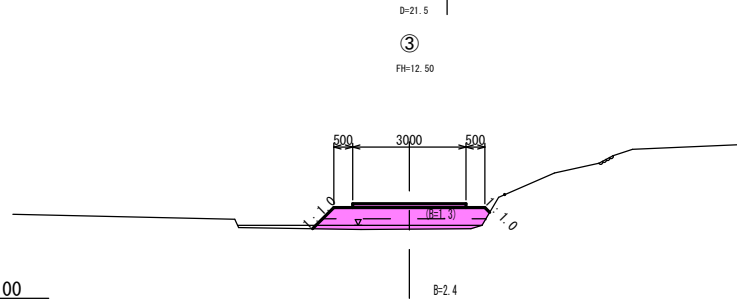
令和3年9月2日～9月4日 豪雨災害

工事名	川田用水路災害復旧工事		
図面名	仮設計画平面図		
年月日	2022年(令和4年)2月		
縮尺	図示	図面番号	5/6
工事箇所	福山市本郷町地内		
事業主体	福山市		

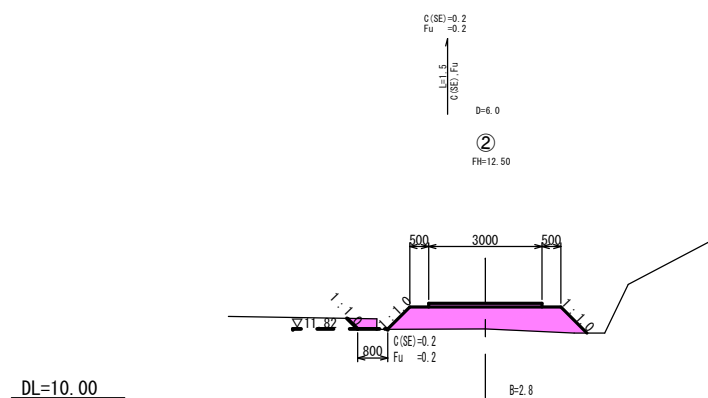
Y=25



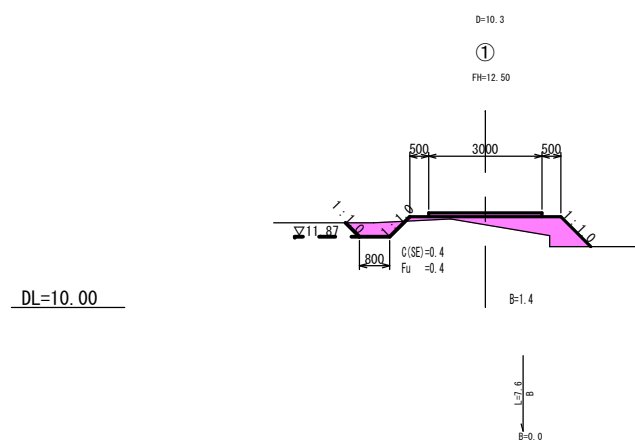
DL=10.00



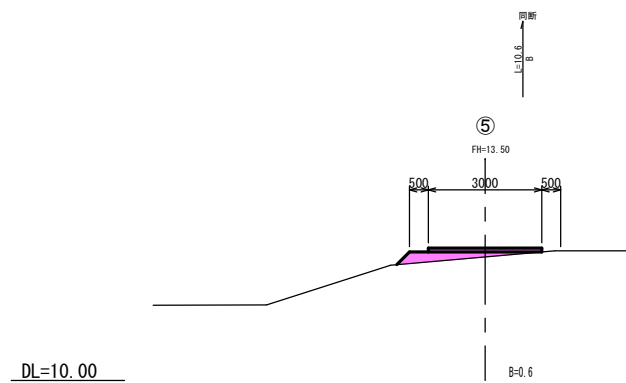
DL=10.00



DL=10.00



DL=10.00



DL=10.00

50%縮小版 (A1⇒A3)

504
207

令和3年9月2日～9月4日 豪雨災害

工事名	川田用水路災害復旧工事		
図面名	仮設道路横断面		
年月日	2022年(令和4年)2月		
縮尺	1:100	図面番号	6/6
工事箇所	福山市本郷町地内		
事業主体	福山市		

以下参考図書

施工単価表

掘削

SPK21040001

単第 0 -0001号表

土砂 上記以外(小規模)

標準以外

1

m3 当り

機械構成比: 23.01% 労務構成比:

69.05%

材料構成比: 7.94%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,337.8000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	23.01%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	69.05%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.94%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 F=8 標準以外			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

積込(ルーズ)

SPK21040007

単第 0 -0003号表

土砂

小規模(標準以外)

1

m3 当り

機械構成比: 23.01%

労務構成比:

69.05%

材料構成比:

7.94%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

1,594.7000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	23.01%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	69.05%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.94%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂			B=5 小規模(標準以外)		

施工単価表

法面整形

SPK21040024

単第 0 -0007号表

盛土部 法面締固め無し 現場制約無し

レキ質土,砂及び砂質土,粘性土

1

m2 当り

機械構成比: 13.80% 労務構成比:

73.63% 材料構成比: 12.57%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

390.2200

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	13.80%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
普通作業員	33.08%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	27.90%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	12.65%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	12.57%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 盛土部 C=2 現場制約無し E=1 -(全ての費用)			B=2 法面締固め無し D=2 レキ質土,砂及び砂質土,粘性土		

施工単価表

土砂等運搬

SPK21040002

単第 0 -0008号表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離3.0km以下(2.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 19.75% 労務構成比:

70.85% 材料構成比: 9.40%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,269.9000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	19.75%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	70.85%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	9.40%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=16 距離3.0km以下(2.5km超)			B=6 バックホウ山積0.13m3(平積0.1m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

遠心力鉄筋コンクリート管(B形)

SPKN2104071

単第 0 -0009号表

据付 管径200mm

外圧管1種

1

m 当り

機械構成比: 11.09% 労務構成比:

41.46%

材料構成比: 47.45%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

7,985.5000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・クレーン機能付き・排1 山積0.45/平積0.35m3,吊能力2.9t	8.47%		バックホウ(クローラ型) 標準型・クレーン機能付き・排1 山積0.45/平積0.35m3,吊能力2.9t		MTPC00063 MTPT00063
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	11.63%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	10.76%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	6.18%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	3.08%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
遠心力鉄筋コンクリート管(JISA5372) 外圧管,B形1種,呼び径200,長さ2,000 参考質量103kg	43.26%		ヒューム管 外圧管 B形1種 径200mm×長さ2,000mm		TTPC00107 TTPT00107
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	3.20%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0012

コンクリート

SPK21040140

単第 0 -0011号表

小型構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 4.43%

労務構成比:

39.79%

材料構成比:

55.78%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

28,968.0000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	4.18%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	12.91%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	11.03%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	6.76%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	6.39%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	53.83%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.84%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

型枠

SPK21040142

単第 0 -0012号表

一般型枠

小型構造物

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

7,775.2000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	45.16%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	30.69%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.11%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=2 小型構造物		

施工単価表

床掘り

SPK21040015

単第 0 -0013号表

土砂 上記以外(小規模)

1

m3 当り

機械構成比: 22.07% 労務構成比: 70.62%

材料構成比: 7.31%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,986.0000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	22.07%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
運転手(特殊)	38.15%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	32.47%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.31%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=1 -(全ての費用)			B=5 上記以外(小規模)		

省力化平張りかご
H=500mm

施工単価表

単第 0 -0014号表

頁0 -0016

100

m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.6	人			
特殊作業員	0.9	人			
普通作業員	7.8	人			
省力化平張りかご 平張り型 H=500mm めっき鉄線 長期性能	100	m2			
割ぐり石 200～150mm	48.6	m3			
不織布(合織) 厚10mm,強度9.8kN/m	107	m2			
機-1_バックホウ運転 クローラ[標準]山積0.8m3 (平積0.6m3) 排出ガス対策型2次基準	8.2	時間			単第 0-0015号表
諸雑費	1	式			
合計	100	m2			
単位当り	1	m2			

施工単価表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.43	人			
造園工	1.28	人			
普通作業員	3.42	人			
野芝付ジオテキスタイル 500㎡以上	108	m2			
ネットピン（接続ピン）	412	個			
ハイブラ杭 L=230	175	本			
補助アンカー 9 L=200	88	本			
<港湾用資材>山砂 シルト分(中詰用20%以下)(置換用15%以下) 岸壁渡しまたは投入込み	1	m3			
小計					
小規模面積補正 35%					
合計	100	m2			
単位当り	1	m2			

施工単価表

頁0 -0023

コンクリート

SPK21040140

単第 0 -0021号表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 4.53%

労務構成比:

37.78%

材料構成比: 57.69%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

28,266.0000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	4.28%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	11.31%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	10.72%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	6.93%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	6.55%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	55.69%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.89%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

型枠

SPK21040142

単第 0 -0022号表

一般型枠

鉄筋・無筋構造物

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

8,607.2000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	47.45%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	24.97%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	8.89%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=1 鉄筋・無筋構造物		

施工単価表

目地板
 瀝青纖維質目地板 t=10mm

SPK21040110

単第 0 -0023号表

1

m2 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 38.61% 材料構成比: 61.39% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,934.2000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	32.23%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	6.38%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
目地板 瀝青纖維質板 厚10mm	61.39%		瀝青纖維質目地板 厚さ10mm		TTPC00199 TTPT00199
積算単価			積算単価		EP001
A=1 瀝青纖維質目地板 t=10mm					

施工単価表

路体(築堤)盛土・埋戻
 施工幅員2.5m以上4.0m未満
 機械構成比: 17.82%

SPKN2104004

単第 0 -0024号表

1
 m3 当り
 標準単価: 736.3600

労務構成比: 74.37% 材料構成比: 7.81% 市場単価構成比: 0.00%

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.28m3(平積0.2) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	9.33%		バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.28m3(平積0.2m3)		KTPC00054 KTPT00054
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	8.49%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
運転手(特殊)	65.62%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	8.75%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.81%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 施工幅員2.5m以上4.0m未満					

施工単価表

砂利舗装工
敷均し幅2.5m以上

単第 0 -0025号表

100 m2 当り

バックホウ敷均し 敷均し

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.22	人			
普通作業員	0.69	人			
再生クラッシャー 40~0mm	11.50	m3			
機-1_バックホウ運転 クローラ[標準]山積0.28m3 (平積0.2m3) 排出ガス対策型2次基準	1.90	時間			単第 0-0026号表
諸雑費	1	式			
合計	100	m2			
単位当り	1	m2			
A=3 敷均し幅2.5m以上 C=1 敷均し E=3 再生クラッシャー RC - 40			B=3 バックホウ敷均し D=1 舗装面仕上げ無し F=10 敷砂利仕上がり厚さ(cm)		
G=2 舗設材単価0円区分：なし I=2 小型車割増あり			H=0 敷材単価(円)(G = 2の時)		

施工単価表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.192	人			1*0.192
特殊作業員	0.192	人			1*0.192
普通作業員	0.192	人			1*0.192
1t土のう 丸型,径110cm×長108cm	10.000	枚			
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付2.9t吊 山積0.8m3 低騒音3次	0.192	日			単第 0-0032号表
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	0.192	日			
諸雑費	6	%			
合計	10	袋			
単位当り	1	袋			
A=1 1t土のう(丸型,径110cm×長108cm)					

数 量 総 括 表

工 事 名	川田用水路災害復旧工事					事業区分		
						工事区分		
レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規 格	単位	数量	設計数量	摘 要
排水路工事								
	土工							
		掘削工						
			土砂掘削	土砂	m ³	91.0	91	
		盛土工						
			真砂土購入	ほぐし土量	m ³	88.5	89	
			盛土	真砂土	m ³	66.4	66	
		整形仕上げ工						
			法面整形（盛土部）	土砂	m ²	171.7	172	
		残土処理工						
			土砂等運搬	土砂	m ³	143.1	143	
			残土受入費	礫質土	m ³	143.1	143	
	管渠工							
		ヒューム管布設工						
			ヒューム管 管継ぎ手部補強 コンクリート	D200（第1種）	m	21.4	21.4	
					箇所	2	2	
	根固め工							
		作業土工						
			床掘	土砂	m ³	64.1	64	

数 量 総 括 表

工 事 名	川田用水路災害復旧工事					事業区分		
						工事区分		
レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規 格	単位	数量	設計数量	摘 要
			埋戻	締固め無し	m ³	12.0	12	
		かご工						
			省力化平張りかご工	省力化平張りかご H=0.50m	m ²	159.9	160	
	法面工							
		植生工						
			野芝付ジオテキスタイル 張付工	野芝付ジオテキスタイル張付工 (法面部)	m ²	117.7	118	
				野芝付ジオテキスタイル張付工 (堤脚部)	m	35.1	35	
				野芝付ジオテキスタイル張付工 (天端部)	m	35.1	35	
				野芝付ジオテキスタイル張付工 (端止部)	m	18.4	18	
			芝付工	人工芝	m ²	41.2	41	
		端止工						
			コンクリート	$\sigma cK=18N/mm^2$	m ³	3.9	3.9	
			型枠	無筋	m ²	32.1	32	
			目地材	t=10mm	m ²	0.8	0.8	
		保護工						
		(張コンクリート)	コンクリート	$\sigma cK=18N/mm^2$	m ³	3.2	3.2	
			型枠	無筋	m ²	16.2	16	
			溶接金網	$\Phi 5 \times 150 \times 150$	m ²	13.3	13	
			目地材	t=10mm	m ²	1.6	2	

数 量 総 括 表

工 事 名	川田用水路災害復旧工事					事業区分		
						工事区分		
レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規 格	単位	数量	設計数量	摘 要
	仮設工							
		仮設道路工						
			真砂土購入	ほぐし土量	m ³	134.1	134	
			盛土	真砂土	m ³	100.6	101	
			敷砂利	t=10cm	m ²	160.2	160	
			掘削	真砂土+砂利	m ³	127.8	128	
			敷鉄板設置	22×1524×3048 802kg/枚	m ²	157.9	158	
			敷鉄板撤去	22×1524×3048 802kg/枚	m ²	157.9	158	
			敷鉄板賃料	22×1524×3048 802kg/枚	枚	34	34	
		仮締切工						
			真砂土購入	ほぐし土量	m ³	7.0	7	
			大型土のう製作・設置	1t土のう RTC	袋	7	7	
			大型土のう撤去	1t土のう RTC	袋	7	7	
			土砂掘削	土砂	m ³	68.8	69	
			埋戻	締固め無し	m ³	68.8	69	
			水替ポンプ据付・撤去	小口径	箇所	1	1	
			水替ポンプ運転		日	9	9	
		残土処理工						
			土砂等運搬	土砂	m ³	133.6	134	

土工収支計算書

発生土

種 別	規格	単位	発生土量 (地山)
土工			
土砂掘削	土砂	m ³	91.0
作業土工 (床掘)			
省力化平張りかご	土砂	m ³	64.1
土砂合計			155.1

必要土

種 別	規格	単位	必要土量 (盛土)	変化率	必要土量 (地山)
土工					
盛土			0.0	1/ 0.9	
作業土工 (埋戻)					
省力化平張りかご	土砂	m ³	12.0	締固め無し	12.0
合計					12.0

発生土 > 必要土 ⇒ 残土

$$\begin{array}{rclclcl} \text{土量(土砂)} & V = & \text{発生土} & & \text{必要土} & & \\ & & 155.1 & - & 12.0 & = & 143.1 \quad \text{m}^3 \end{array}$$

計第 表		土工						計 算 表			
測 点	距 離	掘削(SE)			盛土				平均	立積	摘 要
		C(SE)	平均	立積	B	平均	立積				
	-	2.6	-	-	0.0	-	-				
	13.6	2.6	2.60	35.4	1.6	0.80	10.9				
SECT0.0	1.0	2.9	2.75	2.8	1.9	1.75	1.8				
SECT4.3	4.3	3.1	3.00	12.9	2.2	2.05	8.8				
SECT15.3	11.0	1.7	2.40	26.4	2.9	2.55	28.1				
SECT21.4	6.1	1.6	1.65	10.1	1.5	2.20	13.4				
	-	0.9	-	-	0.8	-	-				
	4.0	0.8	0.85	3.4	0.9	0.85	3.4				
計				91.0			66.4				

計第 表		整形仕上げ工					計 算 表				
測 点	距 離	盛土法面整形			平均	立 積	平均	立 積	摘 要		
		Ls(土砂)	平均	平 積							
	-	4.0	-	-							
	13.6	4.0	4.00	54.4							
SECT0.0	1.0	4.8	4.40	4.4							
SECT4.3	4.3	5.0	4.90	21.1							
SECT15.3	11.0	4.8	4.90	53.9							
	3.1	4.8	4.80	14.9							
	-	3.7	-	-							
SECT21.4	2.7	3.7	3.70	10.0							
	1.6	3.7	3.70	5.9							
	-	4.8	-	-							
	2.1	4.8	4.80	10.1							
計				174.7							

計第 表		作業土工			省力化平張りかご 埋戻(締固め無し)			計 算 表			
測 点	距 離	床掘(SE)			Fu	平 均		平 積	平 均	平 積	摘 要
		E(SE)	平 均	立 積							
	-	1.6	-	-	0.3	-	-				
SECT0.0	14.6	1.6	1.60	23.4	0.3	0.30	4.4				
SECT4.3	4.3	1.6	1.60	6.9	0.3	0.30	1.3				
SECT15.3	11.0	1.6	1.60	17.6	0.3	0.30	3.3				
SECT21.4	6.1	1.6	1.60	9.8	0.3	0.30	1.8				
	4.0	1.6	1.60	6.4	0.3	0.30	1.2				
計				64.1			12.0				

計第 表		省力化平張りかご工						計 算 表			
測 点	距 離	省力化平張りかご			G	平 均	立 積		平 均	平 積	摘 要
		SL	平 均	平 積							
	-	4.00	-	-							
SECT0.0	14.6	4.00	4.00	58.4							
SECT4.3	4.3	4.00	4.00	17.2							
SECT15.3	11.0	4.00	4.00	44.0							
SECT21.4	6.1	4.00	4.00	24.4							
	4.0	4.00	4.00	16.0							
計				160.0							

法面工

数量集計表

種 別	細 別	規 格	単 位							計
植生工										
	野芝付ジオテキスタイル 張付工	法面部	m ²	117.7						117.7
	野芝付ジオテキスタイル 張付工	堤脚部	m	33.0+2.1 35.1						35.1
	野芝付ジオテキスタイル 張付工	天端部	m	33.0+2.1 35.1						35.1
	野芝付ジオテキスタイル 張付工	端止部	m	上流端 4.0	張りコン上流端 4.8	張りコン下流端 4.8	下流端 4.8			18.4
	芝付工	人工芝	m ²	41.2						41.2
端止工										
	コンクリート	σ ck=18N/mm ²	m ³	上流端 0.84	張りコン上流端 1.01	張りコン下流端 1.01	下流端 1.01			3.9
	型枠	無筋	m ²	上流端 7.01	張りコン上流端 8.37	張りコン下流端 8.37	下流端 8.37			32.1
	目地材	t=10mm	m ²	上流端 0.21	張りコン上流端 0.21	張りコン下流端 0.21	下流端 0.21			0.8
保護工										
	張コンクリート	σ ck=18N/mm ²	m ²	18.0	控除 (3.00)					15.0
	コンクリート	σ ck=18N/mm ²	m ³	下部 0.20	張コンクリート 3.00					3.2
	型枠	無筋	m ²	下部 0.33	上部4.3×0.2 0.86	張コンクリート 15.0				16.2
	溶接金網	Φ5×150×150	m ²	15.00	控除4.3×0.2 (0.86)	控除4.0×0.2 (0.8)				13.3
	目地材	t=10mm	m ²	1.59						1.6

計第 表		植生工・保護工						計 算 表			
測 点	距 離	野芝付ジオテキスタイル張付工			芝付工			張コンクリート			摘 要
		LG	平均	平積	L	平均	平積	Lc	平均	平積	
	-	3.2	-	-	0.8	-	-				
	13.6	3.2	3.20	43.5	0.8	0.80	10.9				
SECT0.0	1.0	3.2	3.20	3.2	1.6	1.20	1.2				
SECT4.3	4.3	3.3	3.25	14.0	1.7	1.65	7.1				
SECT15.3	11.0	3.6	3.45	38.0	1.2	1.45	16.0				
	3.1	3.6	3.60	11.2	1.2	1.20	3.7				
	-							4.2	-	-	
SECT21.4	2.7							4.2	4.20	11.3	
	1.6							4.2	4.20	6.7	
	-	3.7	-	-	1.1	-	-				
	2.1	3.7	3.70	7.8	1.1	1.10	2.3				
計				117.7			41.2			18.0	

計第 表

端止工

数量計算表

端止めコンクリート			張りコン下部コンクリート						
位	置	延長・ヶ所	摘	要	位	置	延長・ヶ所	摘	要
	SECT0.0-14.6	4.0	上流端			SECT21.4付近	2.2		
	SECT21.4-3.0	4.8	張りコン上流端						
	SECT21.4+1.6	4.8	張りコン下流端						
	SECT21.4+4.0	4.8	下流端						
	計	18.4 m					2.2 m		

仮設工

数量集計表

種 別	細 別	規 格	単 位							計
仮設道路工										
	真砂土購入	ほぐし土量	m3	Aタイプ 134.1						134.1
	盛土	真砂土	m3	Aタイプ 100.6						100.6
	敷砂利	t=10cm	m2	Aタイプ 160.2						160.2
	掘削	真砂土+砂利	m3	Aタイプ 127.8						127.8
	敷鉄板設置・撤去	22×1524×3048 802kg/枚	m2	157.9						157.9
	敷鉄板賃料	22×1524×3048 802kg/枚	枚	34						34
仮締切工										
	真砂土購入	ほぐし土量	m3	7.0						7.0
	大型土のう製作・設置・撤去	RTC	袋	設計図より 7						7
	土砂掘削	土砂	m3	68.8						68.8
	埋戻	締固め無し	m3	68.8						68.8
残土処理工										
	残土処理		m3	Aタイプ 127.8		大型土のう 5.8				133.6
運搬処理工										
	廃プラスチック 大型土のう袋	2.1kg/枚 7袋	kg	14.7						14.7

仮設道路数量計算

仮設道路 Aタイプ L=53.4m

種別	規格	計算式	単位	値
真砂土購入	ほぐし土量	$100.6/0.9*1.2$	m3	134.1
盛土	真砂土	計算書より	m3	100.6
敷砂利	t=10cm	$3.0*53.4$	m2	160.2
掘削	真砂土+砂利	$100.6/0.9+160.2*0.1$	m3	127.8

計第 表

掘削,埋戻(水替箇所)

計 算 表

測 点	距 離	掘削(SE)			埋戻(締固め無し)			平均	立 積	摘 要
		C(SE)	平均	立 積	Fu	平均	立 積			
	-	1.4	-	-	1.4	-	-			
SECT0.0	21.1	1.4	1.40	29.5	1.4	1.40	29.5			
SECT4.3	4.3	1.7	1.55	6.7	1.7	1.55	6.7			
SECT15.3	11.0	1.3	1.50	16.5	1.3	1.50	16.5			
SECT21.4	6.1	0.6	0.95	5.8	0.6	0.95	5.8			
①	13.8	0.4	0.50	6.9	0.4	0.50	6.9			
②	10.3	0.2	0.30	3.1	0.2	0.30	3.1			
③	1.5	0.2	0.20	0.3	0.2	0.20	0.3			
計	68.1			68.8			68.8			

計第 表		仮設盛土			計 算 表						
測 点	距 離	真砂土				平均	立 積		平均	立 積	摘 要
		B	平均	立 積							
	-	0.0	-	-							
①	7.6	1.4	0.70	5.3							
②	10.3	2.8	2.10	21.6							
③	6.0	2.4	2.60	15.6							
	15.4	1.3	1.85	28.5							
④	6.1	3.2	2.25	13.7							
⑤	5.0	0.6	1.90	9.5							
	10.6	0.6	0.60	6.4							
計	61.0			100.6							